

# ビズイネクロ 個人事業主に福利厚生を提供

## 専用IT保険も開発

### MBLS 設立 アイリックスなど出資

マイクロビジネスの個人事業主などを対象にした福利厚生サービス「MBLS」が9月からスタートする。「アイリックス」が9月13日、マイクロビジネス協議会の厚生分科会のプロジェクトから生まれた。同分科会には民間企業も参加して運営、参加は約20社。MBLSは今年6月に設立、資本金1000万円。出資は乗合代理店のアイリックス、コーポレーション、日本テレワーク協会の賛助会員が80%、福利厚生事業を手掛けるベネフィット・ワン(分科会の主意)が10%など。

「アイリックス」は、損保ジャパン(主幹事)、東京海上、三井住友海上の共同出資。コンピュータウィルスに感染したことで第三者に損害を与え、訴訟を起こされた場合、最大300万円までを補償する。また、会員専用の「マスク」もオプションとして提供する。

他には、資格取得報酬の提供、ロイヤリティ、法律相談(会員料金)、ダイヤル無料サービス、慶事お祝い制度、リゾート・トラベル・レジャー割引サービスなど。さらに、50万円以下のフリーロードも提供する。

## 将来的に数百万人の市場へ

マイクロビジネスライオンの募集活動は、マイクロビジネスエージェンツに「MBLS」の告知を行い、エージェンツは個人事業主などに個別に案内をする。エージェンツは100ぐらいあり、個人事業者を管理している。

日本テレワーク協会に加盟している個人は20万人(公称)だが、将来的には数百万台に広がる見込がある。

「MBLS」の告知は、エージェンツを通じて行われ、個人事業主などに個別に案内をする。エージェンツは100ぐらいあり、個人事業者を管理している。

## Last Week

- (8月26日)
  - 金融情報を提供するモーニングスターは、NTTツールマールの提供する「Foobio」(フービオ)にコンテンツの提供を開始。フービオは、モバイルユーザーが容易にダウンロードサービスを利用できるようになる手段として期待されている。
  - 7月の全国百貨店売上高(292店)は7924億円、前年比5.5%減で4ヵ月連続の前年割れ。また、スーパーの7月上高(6197店)は1兆2345億円、4.6%減。
  - (27日)
    - 「郵政三事業の在り方について考える懇談会」(田中直毅座長)は第8回会合を開催、最終報告案がまとめられた。①持株会社②三事業一体の完全民営化③郵便・簡保廃止による完全民営化の3案を併記。
    - (28日)
      - イー・トレード証券は東京三菱銀行と提携、東京三菱ダイレクト「eペイメント」とのオンラインでのリアルタイムの資金決済サービスを開始。
      - 厚生労働省は、「雇用と年金に関する研究会」に高齢者の就業を促すための厚生年金改革案を提出。
      - 来年4月に改定する65歳以上の介護保険料は全国平均で月3241円になる見込み。厚生労働省。
      - (29日)
        - 新発10年物国債の利回りが1.185%まで一時的に下がった。1.2%割れは、01年6月29日以来。新発5年物国債も0.275%まで下がり、過去最低を更新。
        - 三井住友銀行は、12月2日に「三井住友フィナンシャルグループ」を設立すると発表。三井住友銀行、三井住友カード、日本総合研究所の系列3社を傘下に置く。持ち株会社の資本金は1兆円。
        - ハートフォード生命は変額個人年金「NEWハートフォードNKK」(日興コディアル証券で発売)にユーロ短期ファンドと日本小型株ファンドを追加。
        - (30日)
          - 大成火災は関係人集会を開催。更生計画案を承認。企業向け火災保険のカット率は約26%から約23%に縮小。同社は12月1日、支援スポンサーの損保ジャパンと合併する。
          - (9月1日)
            - 三菱東京フィナンシャルグループ系4証券の合併新会社「三菱証券」がスタート。国際証券、東京三菱証券、東京三菱パーソナル証券、一成証券の4社。預かり資産は10兆円を超え、業界で4位の規模となる。



### 生保文化 センター 年金ガイド発行

生命保険文化センターは改定版「年金ガイド」を改定版「年金ガイド」に見てわかる年金A10Z(B5判・カラー)56頁(写真)を、発行。今回の改定ポイントでは、02年4月からの図表やイラストを多用し、

「PCAYユニバーシティ」を通じて、MTIのテレビ番組「年金ガイド」が販売資格を取得することを支援。その後も継続的なマーケティングとサポートを提供する。多角的販売チャネルの一つとして「ダイレクトマーケティング」の拡充を目指している。今回の提携はその強化策の一環。

自動車保険 10月に改定

あいおい損保

あいおい損保は10月、自動車保険「IAP」の商品ラインナップを拡充するとともに、女性向け自動車保険「IAPシニア」を発売する。商品改定では、商品パターンとサービスの一体化を行い、「あんしんシリーズ」として、付帯された担保項目によって4区分を新設。あらゆるサービスで付帯した最上級品「安心満載」から、「あんしん」(「あんしん」)、「あんしん」(「あんしん」)、「あんしん」(「あんしん」)と、女性向け「IAPシニア」と若者向け「フレッシュ」を発売。IAPシニアの特長は、形成手術費用担保

### 東京海上 メディカル 企業にEAP提案

東京海上メディカルサービス(TMS)とアドバンテッジEAPは、従業員支援プログラムの中で、外部のカウンセリング組織との連携を強化し、従業員が気軽にEAPサービスを活用できるようにすることを目的としている。9月からアドバンテッジが企業へ企画提案を行い、TMSがカウンセリングと医療サービスを提供する。EAPは、「Employee Assistance Program」の略。従業員支援プログラムのことで、外部のカウンセリング組織との連携を強化し、従業員が気軽にEAPサービスを活用できるようにすることを目的としている。

### PCAMTIと業務提携

PCAMTIと業務提携

PCAMTIは、携帯端末

### 人事

太陽生命(9月1日)

東京支社長(営業管理部長) 河田和典(営業管理部長) (営業推進課長) 細川敏男(浦和支社長) (鹿兒島支社長) 柏木康宏(町田支社長(東京支社長) 小原國男(営業推進部長(浦和支社長) 加藤紀彦(柏支社長(町田支社長) 升元章(鹿兒島支社長) 葉金良郎

「PCAYユニバーシティ」を通じて、MTIのテレビ番組「年金ガイド」が販売資格を取得することを支援。その後も継続的なマーケティングとサポートを提供する。多角的販売チャネルの一つとして「ダイレクトマーケティング」の拡充を目指している。今回の提携はその強化策の一環。

自動車保険 10月に改定

あいおい損保

あいおい損保は10月、自動車保険「IAP」の商品ラインナップを拡充するとともに、女性向け自動車保険「IAPシニア」を発売する。商品改定では、商品パターンとサービスの一体化を行い、「あんしんシリーズ」として、付帯された担保項目によって4区分を新設。あらゆるサービスで付帯した最上級品「安心満載」から、「あんしん」(「あんしん」)、「あんしん」(「あんしん」)、「あんしん」(「あんしん」)と、女性向け「IAPシニア」と若者向け「フレッシュ」を発売。IAPシニアの特長は、形成手術費用担保